

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 元年 5月30日	
愛知県知事 殿	
提出者 小沢 剛央	
住 所 愛知県碧南市源氏神明町61番地	
氏 名 木村建設株式会社	
代表取締役 木村徳雄	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-41-1818	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	木村建設株式会社
事業場の所在地	愛知県碧南市源氏神明町61番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	総合工事業
2 事業の規模	元請完成工事高：22億1000万円
3 従業員数	70人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石に再資源化 木くず：再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物：再生処理業者に分別を委託し、分別出来ないものを埋め立て処分 その他廃棄物も再生処理業者に委託し再資源化、再資源化できない廃棄物は埋め立て処分 建築工事の廃棄物の処理は土木工事に準ずる。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理責任者 執行役員： 手嶋康隆

管理責任者 (正) 常務取締役： 鈴木裕之

管理責任者 (副) 土木部長
建築部長

現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排出量	87 t	117 t
	(これまでに実施した取組) 施工管理を徹底し、発生量を抑える。		
1 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	排出量	50 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) 工事着手前に発生量の抑制、分別について教育を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

1	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場において発生ゴミを分別して保管している。
2	計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1	現状	【前年度(平成29年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 特になし		
2	計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) 現場での簡易破碎機械の設置		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
1	現状	【前年度(平成29年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 特になし		
2	計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	87 t	117 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t

		再生利用者への 処理委託量	87 t	117 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし			

(第5面)

2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	50 t	80 t
	優良認定処理業者への処 理委託量	0 t	0 t
	再生利用者への 処理委託量	20 t	50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理責任者 執行役員： 手嶋康隆

管理責任者 (正) 常務取締役： 鈴木裕之

管理責任者 (副) 土木部長
建築部長

現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	1 t	11 t
	(これまでに実施した取組) 施工管理を徹底し、発生量を抑える。		
1 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	10 t	20 t
	(今後実施する予定の取組) 工事着手前に発生量の抑制、分別について教育を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

1	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場において発生ゴミを分別して保管している。
2	計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1	現状	【前年度（平成30年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 特になし		
2	計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) 現場での簡易破碎機械の設置		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
1	現状	【前年度（平成30年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 特になし		
2	計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	全処理委託量	1 t	11 t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	0 t	0 t

		再生利用者への 処理委託量	1 t	11 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組) 特になし		

(第5面)

2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処 理委託量	0 t	0 t
	再生利用者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理責任者 執行役員： 手嶋康隆

管理責任者 (正) 常務取締役： 鈴木裕之

管理責任者 (副) 土木部長
建築部長

現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	排出量	8 t	
	(これまでに実施した取組) 施工管理を徹底し、発生量を抑える。		
1 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	排出量	10 t	
	(今後実施する予定の取組) 工事着手前に発生量の抑制、分別について教育を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場において発生ゴミを分別して保管している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
2 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現場での簡易破碎機械の設置	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
2 計画	【目標】	

	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
	全処理委託量	8 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	

		再生利用者への 処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	
		(これまでに実施した取組) 特になし		

(第5面)

2	計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶器	
		全処理委託量	10 t	
		優良認定処理業者への処 理委託量	0 t	
		再生利用者への 処理委託量	10 t	
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	
		(今後実施する予定の取組) 特になし		

④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石に再資源化 木くず：再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物：再生処理業者に分別を委託し、分別出来ないものを埋め立て処分 その他廃棄物も再生処理業者に委託し再資源化、再資源化できない廃棄物は埋め立て処分 建築工事の廃棄物の処理は土木工事に準ずる。
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図)</p> <p>統括管理責任者 執行役員： 手嶋康隆</p> <p>管理責任者 (正) 常務取締役： 鈴木裕之</p> <p>管理責任者 (副) 土木部長 建築部長</p> <p>現場責任者</p>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	排出量	16 t	107 t
	(これまでに実施した取組) 施工管理を徹底し、発生量を抑える。		
1 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	排出量	20 t	100 t

		(今後実施する予定の取組) 工事着手前に発生量の抑制、分別について教育を実施する。
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場において発生ゴミを分別して保管している。
② 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現場での簡易破碎機械の設置		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した	0 t	0 t

	産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			

1 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	全処理委託量	16 t	107 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	16 t	107 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

(第5面)

2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき	混合
	全処理委託量	1,000 t	100 t
	優良認定処理業者への処 理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	100 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t

		(今後実施する予定の取組) 特になし
※事務処理欄		